

「生殖補助医療妊娠と自然妊娠の分娩転帰に関する研究」について

1. 研究の対象

2019年1月1日～2024年6月30日の間に当院で分娩介助を行った患者様

2. 研究目的・方法

近年、生殖補助医療（妊娠を成立させるために行う治療で、体外受精などの不妊治療の総称）による妊娠が増加しています。生殖補助医療による妊娠は、癒着胎盤のリスクが増加することが以前から指摘されており、当院でも該当する患者が増加し、生殖補助医療の影響と思われる癒着胎盤の症例が増加しています。また、生殖補助医療により妊娠された妊婦さんが助産院や診療所で分娩され、癒着胎盤の疑いで当院に搬送される症例も散見されます。

今回、生殖補助医療妊娠と自然妊娠の分娩転帰を比較し、生殖補助医療妊娠のリスクを評価することができると考え、本研究を実施することとしました。

本研究を行うことで生殖補助医療妊娠のリスクが判明し、妊婦や医療従事者がリスクにあわせて分娩場所を選択する事ができるようになることが期待出来ます。研究に使用する情報は電子カルテ内にある過去の医療情報を利用し解析を行います。

研究期間は、病院長許可日から2025年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：電子カルテより

- ・患者背景：年齢、妊娠分娩歴、妊娠転帰、基礎疾患など
- ・助産録：分娩転帰、児の転帰、分娩時出血量、癒着胎盤有無、輸血有無など
- ・血液学的検査：白血球、赤血球、血小板、PT、APTT、Fib、ATⅢ、FDP、Dダイマー、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、直接ビリルビン、AST、ALT、LD、CK、 γ GTP、LAP、BUN、クレアチニン、尿酸、Na、K、Cl、Ca、P、Mg
- ・尿検査
- ・画像検査：MRI、CT、腹部超音波、経膈超音波など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 産婦人科 科長 勝又佳菜

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話：0538-38-5000

研究責任者：

磐田市立総合病院 産婦人科 科長 勝又佳菜